



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 地球 1927, 8(1)

ISSUE DATE:

1927-07-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/183301>

RIGHT:

地球

昭和二年

七月
十二月

第八卷

地球 第八卷 總目錄 昭和二年 七月—十二月

圖版

第一版 丹後峰山地震.....	(第一號)
第二版 樽前火山の新龜裂.....	(第二號)
第三版 信濃國上水内郡第三紀層産化石貝類.....	(第三號)
第四版 根尾谷斷層.....	(第四號)
第五版 關東地方に於ける重力偏差の分布.....	(第五號)
第六版 紀伊國瀨峽と武藏國長瀨.....	(第六號)
造陸造山兩作用の性質.....	小川 琢治..... 一
黒鑛母液果して酸性なりや.....	木下 龜城..... 二五
温泉の試掘に就て.....	石川 成章..... 二六
京都大阪奈良神戸四近地質圖説明文.....	中村新太郎..... 三〇
大和曾爾地方の考察.....	三村 信男..... 四〇
岩漿内の均一平衡と火成岩成生に對する關係(二)(三)(四)(バウル・ニグリ).....	玉貫 光一..... 四三
北權太採集記(完).....(下の四).....	小川 琢治..... 四六
造山作用の地震地質學的解釋(上)(下).....	小川 琢治..... 四六

關東地方の重力偏差(二三)

熊谷 直一

三九

常磐地方白土層の地質時代に就きて

早川 千尋

一〇六

近江國野洲川下流の地形に就きて

宮井嘉一郎

一二

信濃中央高臺の地質及び地形學的意義

本間不二男

三三

樽前山ドームの新龜裂と火口に就きて

柴原 小市

三四

北米合衆國に於ける地理學界

寺田 貞次

四五

綠色角閃石より褐色角閃石への變化に關する研究豫報

神津 俣祐
吉木 文平

七五

信濃國上水内郡第三紀化石略報

槇山 次郎

八二

出雲鶴峠鑛山產透明石膏の主屈折率の測定

山口 鎌次

八九

火山活動豫報の可能性

大橋 良一

一〇一

地理的景觀の個性と通性

西龜 正夫

一〇三

九州刀工分布の歴史地理的意義(上)

小川 琢治

一〇九

根尾斷層に就きて

中村新太郎

一一〇

宍道湖の鹹度問題(二三)

小牧 實繁

一一六

バル氏造山問題概観

山根 新次

一一七

西遊夢錄(蘇國)(二三)

瀧川 規一

一二三

(三)

一二三

朝鮮地質構造論序説	中村新太郎	三七
阿武隈山地地形素描	北陵 學人	三四四
北歐特に瑞典の鐵鑛と其分布	上治寅次郎	三五四
直線狀構造線及び地内力効果の綜攬	小川 琢治	三五五
擴散による分離沈澱と混合沈澱	渡邊萬次郎	三六七
秋田縣長走風穴に就きて	荒谷武三郎	三六八
極東に於ける鑛物資源と將來の開發	石川 成章	四四三
講話		

石油地質學概要

(十一)
(十二)
(十三)
(十四)
(十五)

大村 一藏

四六六
四六五
四六四
四六三
四六二

摘 錄

山崎、多田、琵琶湖北部地帯の地形學的斷層構造	三七
陸地測量部、關東震災地一帯に於ける土地の隆起及沈下	三七
加藤、阿波國淺川鑛山の特異鑛床	三七
筒井、伊吹山頂にて觀測したセント、エルモス火に就きて	一五七
大谷、造山論の史的瞥見	一五四
多田、津屋、十勝岳火山を構成する熔岩	二三四

小釜井、アイノ民族と其起原並に他民族との關係	三三五
小野、原子の變動と地球を構成する物質につきて	三三八
小島、都市交通機關の選定	三六五
陸軍航空部、空中戰に對しての都市施設	三六五
清水、郷土史話の一部	三六二
長谷部、歐羅巴人	三六三
石原、本邦に於ける地質學軌進の進步	四六六
今村、八潮大原の朝鮮色	四六八

新著紹介

朝鮮の物産	三七
日本築港史	三七
船舶史考	六六
朝鮮經濟地圖	一五五
秋田縣の自然地理	一五五
氣象學一斑	一五五
人文地理第一卷第二號	一五五
地質學便覽	一五五
Daly: Our Mobile Earth, 1926	一五五
H. Rosenbusch: Mikroskopische Physiographie der Mineralien und Gesteine. Bd I, 2te Hefte (von O. migege.) Lfg. 3, 1927.	一五五
地理學通論	一五五
大日本方言地圖國語の方言區劃	一五五
水	一五五
日本國勢圖會	一五五
地理教材研究第十輯	一五五
聚落と地理	一五五
G. W. Tyrrell: Principles of Petrology, 1923	一五五
S. J. Shand: Eruptive Rocks, 1927	一五五
播磨風土記物語	一五五
疵録の語	一五五

雜報

土木建築工事砂利	四〇五
地質調査所發行、七萬五千分ノ一地質圖	四〇五
新に生れた米子市	六六
安房線勝浦上總興津間開通	六六
本邦陶器界の現状	六六
丹後胡麻の今昔	六六
米國乾鰯の支那へ新入荷	六六
アラジルの養蠶業	六六
比企忠氏逝去	六六
リンダーグ大佐の大西洋横斷飛行	六六
安徽省北部事情	六六
メキシコの農業地と日本人	六六
ドンニツク草	六六
支那の落花生	六六
蒙古セレンガ河の航通	六六
筒蓆事情	六六
カレー粉と胡椒	六六
ダツアオの養蠶	六六
波斯の鐵道	六六
南阿鐵業	六六
カリフォルニア州産の水銀	六六
大正十四年國勢調査日本内地人口(七)	六六

地球學岡岡山支部近況	三三三
昭和二年文檢礦物豫備試驗問題	三三八
奄美大島の貝類	三三九
西山油田千間掘出油	三三一
北樺太の石油	三三一
三州の玉糸	三三三
歐亞聯絡	三三三
呼海鐵道の延長	三三三
英國の大航空船	三三三
波斯 Dushab 經由による印度波斯貿易	三三三
ウラル州の鐵業	三三三
八丈島と青島	三三八
燕の去來	三三七
ラック樹脂	三三七
カボック棉の栽培	三三七
支那地租制度沿革	三三八
オースマン國事情	三三九
エーメン事情	三三九
キエフ事情	三三九
コスタリカ國の發展	三三九
昭和二年七月文檢礦物本試驗問題	三三九
溫泉中の動物	三四〇
布土の祭山	三四〇
小笠原の地質其他	三四〇

質疑應答

石油の原因に關する一考察	四六一
南アフリカ産新礦物	四六二
硫黃塵 効用	四六二
印度の鐵鋼業	四六二
北部暹羅の事情	四六二
キエラサオ島	四六三
ボリビアの銀と錫	四六三
イキトスの交通	四六四
文檢地理豫備試驗問題	四六四
クラーターゲン	八二
イベリヤ半島の氣候	八一
スライヤ海淵	八二
西山油田噴油の理由	一六三
Reyer の滑動説	一六三
Abendanon の大褶曲説	一六三
尋小地理卷二の 一三八の繪のサボアンと駝鳥の飼料	一六四
本邦海外移民の數	一六四
加州の氣候	一六五
滿洲の柳條邊牆	一六七
生動斷層	一六四
音響測深	一六五
Thar 沙漠の成因	一六六

地球 第八卷 總目録

Hogbag 元四

螺旋狀星雲説と微惑星説 三九二

世界の海運 三九三

妙高、焼、黒嶺、飯綱、の所屬火山帯 四四四

ラトビア人の所屬人種 四四五

螺番斷層 四六六

朝鮮滿洲及日本列島の離島の中等水位 四六六

地球學團新入團員

自昭和二年二月六日―至三月二日 第二號目次ノ裏

自昭和二年三月十五日―至四月二十日 第三號目次ノ裏

自昭和二年四月廿一日―至六月廿八日 第四號目次ノ裏

地球學團々員名簿 (昭和二年十一月一日現在) 四六六ノ次頁ヨリ

地球

第八卷 第一號

昭和二年七月一日發行

主要目次

圖版 第一版

造陸造山兩
黑鑽母液
溫泉の
京都大
大和鐵
岩漿中
北樺太
石油地質

新地誌
雜質疑應
地球第七卷總目錄



一 九 九 太 成 龜 琢
藏 一 一 男 郎 章 城 治

京 都 帝 國 大 學 內
地 球 學 團

地球第八卷第二號（昭和二年八月）

豫告

圖版第二 關東重力偏差圖

地震地質學の研究方法

常磐地方白土層の地質時代に就て

關東平野に於ける重力偏差（一）

信濃中央高臺の地質及び地形學的意義

近江國野州川下流の地形に就て

岩漿内の均一平衡と火成岩成生作用に對する關係（三）（パウ、ニグリ）

北米合衆國に於ける地理學界（一）

講話

石油地質學概要（十二）

摘錄

新著紹介

雜報

質疑應答

理學博士

小川琢治

理學士

早川千尋

理學士

熊谷直一

理學士

本間不二男

理學士

宮井嘉一郎

文學士

寺田貞次

文學士

田貞次

理學士

大村一藏

理學士

大村一藏

地球第八卷第一號

(昭和二年七月一日)

目次

圖版 第一版丹後嶺山地震

造陸造山兩作用の性質

黒鑛母液果して酸性なりや

温泉の試掘に就て

京都大阪奈良神戸四近地質圖説明文

大和曾爾地方の考察

岩漿内の均一平衡と火成岩成生に對する關係(二) (パウエル・ニグリ)

北權太採集記(完)

講話

石油地質學概要(十一)

摘錄

○山崎直方及多田文男―琵琶湖北部地帯の地形學的斷層構造

○陸地測量部―關東震災地一帯に於ける土地の隆起及沈下狀態

○加藤武夫―阿波國淺川鑛山の特異鑛床

新著紹介

○朝鮮の物産 ○日本築港史 ○船舶史考

雜報

○新に生れた米子市 ○安房線勝浦上總興津間開通 ○本邦陶器界の現状 ○丹波胡麻の今昔 ○米國乾鰯の支那新入荷 ○フラジルの養蠶業

質疑應答

○グラトーゲン ○イベリア半島の氣候 ○スライヤ海淵 (正誤)

地球第七卷總目錄

理學博士 小川琢治 一
理學士 木下龜城 五
理學士 石川成章 二六
理學士 中村新太郎 三七
三村信男 四
玉貫光一 五

地球前々號 (第七卷五號) 要目

圖版第五版 丹後峰山地震

全 第六版 近畿地質圖

地震損害輕減の可能性に就いて(二)

大陸及大洋地域の弧狀輪廓の意義 理學博士 小川琢治

大連灣海水の觀察 全 P.D. 小川琢治
新帶國太郎

明治七年の三宅島火山活動の様式に就て 理學博士 神津俣祐

界市附近海岸の貝類 理學士 門倉三能

亞米利加博物館遠征隊のゴビ沙漠に於ける探檢
の方法と結果(オスボン) 黒田德米

北樺太採集記(下の二) 玉貫光一

講話

石油地質學概要(九) 理學士 大村一藏

摘錄

新著紹介

雜報

質答應答

地球前號 (第七卷六號) 要目

圖版第七版 丹後峰山地震

丹後峰山地震の現象とその解釋 理學博士 小川琢治

丹後峰山地震に現はれたる起震線と地弱線 理學士 中村新太郎

三宅島産灰長石の諸性質 理學博士 神津俣祐

新義州南東に出た魚化石リコプテラの一新種 理學士 槇山次郎

關東地方の重力偏差 理學士 熊谷直一

デー氏火山活動の原因 理學士 山根新次

岩漿内の均一平衡と火成岩成生作用に對する關係(パウエル・ニグリ)

北樺太採集記(下の三) 玉貫光一

講話

石油地質學概要(十) 理學士 大村一藏

新著紹介

雜報

質疑應答

地球學團規約

- 第一條 本學團を地球學團といふ。
- 第二條 本學團は地球學に關する學術的研究を進め兼て同好の士の親睦をはかるを目的とする。
- 第三條 本學團の事務所は東京市白川道分町京都帝國大學地質學教室内に置く。
- 第四條 本學團の事業は次の如くである。
- 第五條 本學團の事業に關する刊行物の編輯並に圖書の刊行。
- 第六條 本學團員は地球學の指導として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ前納すること。
- 第七條 本學團員は地球學の指導として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ前納すること。

註文規定

- 購讀者の御註文及び廣告に關する件は博多成象堂へ御申込下さい。
- 本誌の御註文は代金郵税共すべて前金にて御送り下され度候。
- 郵券代用にての御註文は一割増に願上候。
- 振替貯金にての御送金は(振替大阪七番參番、東京五貳六)七番(博多成象堂)に願上候。
- 前金切れの場合に「前金切」の印章捺致すべきに付直に御拂込下され度候。
- 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候。

定價

一冊(前金)	定價金五十錢	郵税金壹錢
六冊(前金)	定價金參圓	郵税不申受
十二冊(前金)	定價金六圓	郵税不申受

廣告料

一頁 金五十圓

昭和二年六月廿五日印刷納本(第八號) 定價金五拾錢
昭和二年七月一日發行(第一號)

製複許不
載轉禁

發行所

編輯者 京都帝國大學 地球學團
右代表者 藤田元春
發行者 博多久吉
印刷者 井下精一郎
印刷所 井下書籍印刷所
大阪市南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地

博多成象堂

電話特南壹壹七七

發賣所

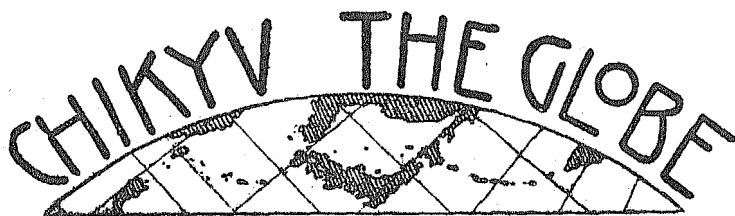
博多成象堂

東京市神田區錦町三丁目拾貳番地
大阪市南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地

所捌賣

(東京) 東京堂 東海堂 大東館
(大阪) 北隆館 盛文館 參文社
(神戸) 實文館 川瀬日進堂
(京都) 共盛社 大盛社
(名古屋) マガジン 川瀬書店 星野書店

CHIKYŪ THE GLOBE



Vol. VIII. No. 1.

July. 1927.

Plate 1. A sight of the Tango Earthquake, March 7.1927.

Nature of Epirogenic and Orogenic movements.

By T. Ogawa, *R. H.* 1

Is the Mother Fluid of the "Kuromous," black one mass acid?

By K. Kinoshita, *R. S.*15

On the Prospecting of Hot-Springs.

By N. Ishikawa, *R. S.*26

Explanation-Text to the Geological Map of Central

Kinki, 1: 250.000

By S. Nakamura, *R. S.*37

Geographical consideration of Sone, Yamato Province.

By N. Mimura,44

Homogeneous Equilibria in Magmatic Melts and their bearing on the Process of Igneous Rock-Formation. (Paul Niggli)

.....52

Trips to Sachalien. (6) (*Concluded*)

By K. Tamanuki,55

Lecture on Oil-Geology (11)

By I. Omura, *R. S.*63

Abstracts New Books—Geographical Notes - Inquiries.

Chikyū Gakudan

Kyōto Imperial University